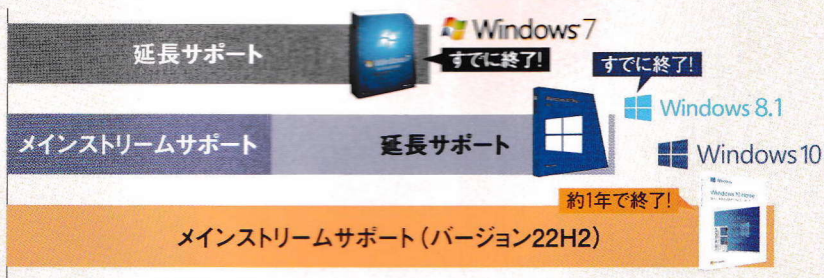


Windows 10のサポートは従来のWindowsと違う!

Windowsのサポートには、新機能の追加や仕様変更、セキュリティの更新を行う「メインストリームサポート」とセキュリティの更新を中心に行う「延長サポート」の2つがあります。Windows 7~8.1のサポートは、両方もすでに終了していて、10は従来の法則だと延長サポート期間のはずですが、実は従来とは異なり、10は延長サポートが実質ありません。メインストリームサポート終了=サポート終了なのです。

Windows 7 / 8.1 / 10のサポート期間



2015年1月13日 2018年1月9日 2020年1月14日 2023年1月10日 2025年10月14日

Windows 10はバージョンアップのたびにサポート期間が延長されてきましたが、バージョン22H2を最後にメインサポートを終了。延長サポートは有償提供(詳しくは24ページ下段カコミ参照)のため、追加の支出をたくない一般ユーザーは、2025年10月14日が最終日となります。なお、Windows 11のサポート最終日は、現時点では発表されていません

Windowsのサポート終了によって起こりえる問題

- マルウェアへの感染 未知のウイルスによる被害
- フィッシング詐欺 なりすましの被害
- 個人情報漏えいの 危険性



マイクロソフトはWindows 10を使い続けることで上記のような危険性があると提唱しています。しかし、実のところ、これらは別途セキュリティソフトを導入したり、対策意識を高めることで、ある程度は防げます

- 愛用ソフトの対応や サポートが終了する



愛用ソフトのWindows 10サポートが終了する可能性があります。また新バージョンがWindows 10に対応しないかもしれません

- 周辺機器の対応や サポートが終了する



Windows 10環境での周辺機器のドライバーやソフトの更新が終了し、メーカーサポートも終了します

アップグレードの基礎知識を確認する

Windows 10は当初、継続

ウィンドウズは発売後、最低5年間はセキュリティ更新プログラムや新機能の追加、仕様変更に関わる「メインストリームサポート」を受けられます。メインストリームサポートの終了後は「延長サポート」期間に入り、これが終わると一切のサポートが停止します。サポートが終わるとセキュリティ機能の更新が止まるので、未知のウイルスやフィッシング詐欺、個人情報漏洩などのリスクに対して、さわめて脆弱になります。さらに、ソフトや周辺機器も動作保証の対象外になることが多く、結果的にパソコンの使い勝手が非常に悪くなってしまいます。

まだ先だと思って
いたんだけど……



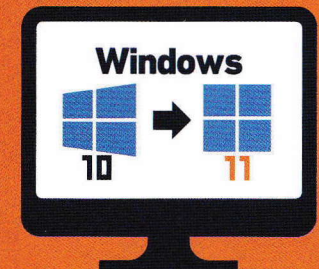
最終案内

ウィンドウズ10

↓

11

Windows 10のサポート終了まであと1年! そのまま使い続けると危険!!



アップグレードの可否と最適なアップグレード方法をチェック! Windows 11乗り換えフローチャート



的にサポートされる予定でした。しかし、ウィンドウズ11への無償アップデートをもってサポート終了がアナウンスされました。ただし、アップグレードできるパソコンには条件があります。

今使っているパソコンをウィンドウズ11にアップグレードするには、クリアしなければならぬ条件がふたつあります。ひとつがパソコンのOSがウィンドウズ10であること。もうひとつは、パソコンがウィンドウズ11のシステム要件を満たしていることです。ひとつめの条件は、よほど古いパソコンを使い続けていない限り大丈夫でしょう。問題はもうひとつの条件です。システム要件については12ページで詳しく説明しますが、およそ7年以内に発売された機種しかアップグレードできません。

なお、「パソコンの性能の見方がよくわからない」「自分のパソコンがいつ頃発売された機種かわからない」という場合でも、マイクロソフトが配布している「PC正常性チェック」というソフトを使えば、簡単にウィンドウズ11へのアップグレードが可能か確認できます。アップグレード可能だった場合は、本ページのフローチャートでたどり着いたゴールの内容を確認して本特集を読み進めましょう。